

Kokeshi Wiki

現代に生きる「こけし辞典」への挑戦です。

[ホーム](#)

[サイト内検索](#)

[このサイトについて](#)

[お知らせ](#)

[こけしについて](#)

[ご意見・お問い合わせ](#)

「こけし辞典」から Kokeshi Wikiへ

鎌田文市



〔人物〕 明治33年8月28日、宮城県白石市新町の絹糸商鎌田卯作の三男に生まれました。大正3年5月15歳で弥治郎で佐藤勘内の弟子となって木地を習得した。また大正6年頃、

[続きを読む](#)

カテゴリ: 工人, 弥治郎系 | タグ: 佐藤勘内
田文市 | 投稿日: 2015年8月25日 | 投稿者
編集

宮本惣七



〔人物〕 安政4年4月3日、陸中国磐井郡山目村120番宮本惣内、里さの二男に生まれる。長兄は惣吉。祖父は宮本惣三郎、母里さは志田郡田尻村の斎藤新八長女。深沢要の宮本永吉からの聞きによると、「木地は、初代が惣助、二代が惣七...」

[続きを読む](#)

カテゴリ: 工人, 鳴子系 | タグ: 伊藤松三郎, 守谷九蔵, 宮本惣七, 宮本惣内, 宮本惣助, 宮本永吉 | 投稿日: 2015年8月22日 | 投稿者: [hashimoto](#) | 最終更新者: [hashimoto](#) 編集

記事検索

サイト内を検索

検索

平成27年9月6日

橋本正明
山藤輝之
宮澤 大

[お知らせ](#) [更新履歴](#) [工人検索](#)

表示を「最終更新日時順」に変更しました。
4年8月21日 更新
[Kokeshi Wikiを公開します](#) 2014年4月17日 更新
[記事一覧](#)

[+] 一般項目 (253)

[+] 工人 (1883)

» 未分類 (14)

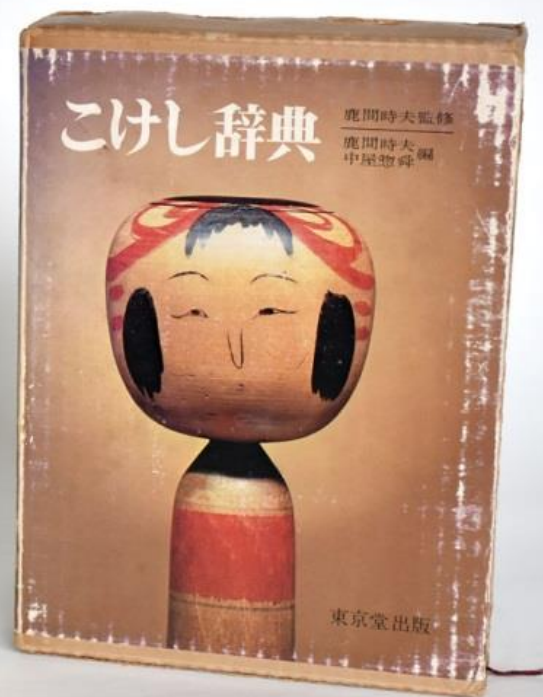


こけし辞典出版のいきさつ

郷土玩具辞典
(昭和46年8月)
斎藤良輔編

こけし辞典
(昭和46年9月)

こけし事典
(昭和43年9月)
菅野新一監修
土橋慶三編著
西田峯吉編著



従来のこけしの文献の記述

- 聞書、伝聞、口伝に基づく
 - 菅野新一、橘文策、深沢要、西田峯吉

こけし辞典の方針

- こけし工人を中心にして「完全なこけしの世界像」を記述する
- 一級史料を可能な限り探す
- 一級史料：その時代の当事者が直接関与して残したもの
寺の過去帳、墓碑（金石文）、戸籍、古文書
（原則は戸籍表記に従うことにした）
- 複数のデータをクロスチェックする（整合性）
- 既往の文献はすべて照査し、検証する

瑞祥寺過五帳
元龜元年
明國武壇寺度

[illegible][illegible]

宣統三年七月二十日
宣統三年八月二十二日
宣統二年五月二十七
宣統四年十月二十六日
宣統五年十一月二十九日

七年二月
張石工內事
六五新門親身
八不更子
新五新肉父

浦利 宣統元年四月一日

麻生政治改名
岩松直助
明治七甲年
長安良道信士
五月廿二日
羽後秋田雄勝郡
三梨村出生
行年四十七才

A

岩松直助

(梵) 天保八丁酉年
秋岸妙音信女
九月十二日

E

嘉永四亥年
积雪道信士
十一月十四日
完上観音当村
庄作

F

嘉永二酉年
(梵) 郎翁道夏信士
閏四月十七日

C



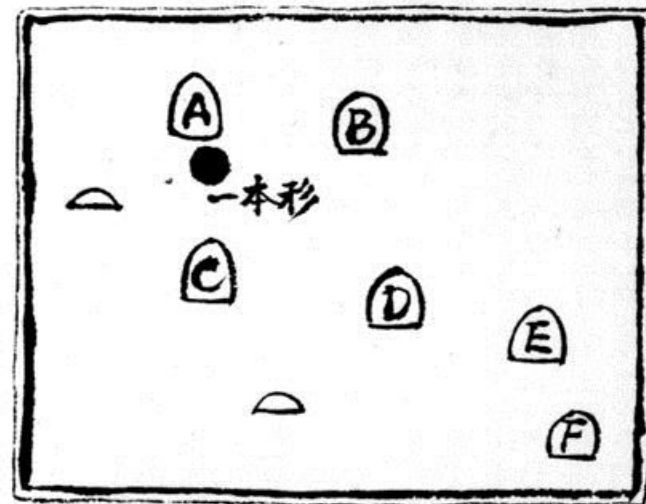
嘉永三庚年
釈春翁信士
二月廿日
庄吉

B

慶応元乙年
(梵) 忠翁夕義信士
十月八日
XXXX 六十五才

D

南條徳右衛門



作並温泉一本杉墓石群

作並温泉
一本杉の墓地

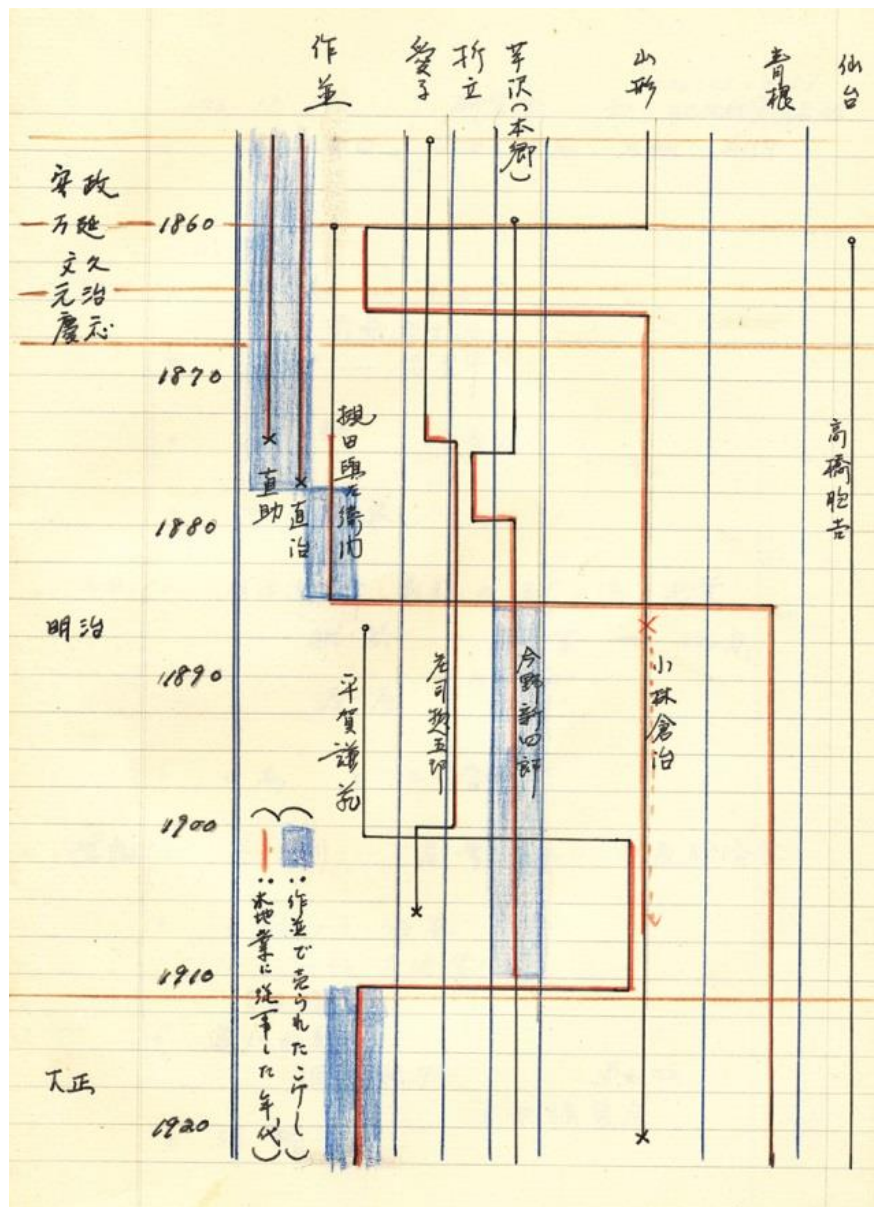
一級史料：墓碑銘



こけし辞典執筆時の調査ノート

こけし辞典の方針

- 一級史料を可能な限り探す
 - 一級史料：その時代の当事者が直接関与して残したもの
寺の過去帳、墓碑（金石文）、戸籍、古文書
 - 複数のデータをクロスチェックする（整合性）
同じ時期同じ場所で仕事をした複数の工人聞き書き
 - 既往の文献はすべて照査し、検証する
記述が比較的正確だった文献（矛盾が少ない）
 - ☆ 遠刈田青根新地の木地業とこけし（佐藤友晴著）
 - ☆ 羨こけし（深沢要著）
 - ☆ 蔵王東麓の木地業とこけし（菅野新一著）
- ### 役に立った雑誌
- ☆ こけし手帖 （執筆者による）
 - ☆ 土湯木でこ考
 - ☆ 鴻 （年代変化や鑑別を議論した最初の文献）



こけし山河執筆のために作った4次元年表
データクロスチェックの例

岩松直助と作並木地業

楠 本 正 明

現在こけし系統論において最も重要な研究課題の一つは作並系の系統発生問題であろう。木地の系譜、こけしの発生あるいは伝承、贈吉の位置付け等基本的な問題が決論の出ないまま残されている。系統名でさえ、作並系であったり、山形系、山形作並系と諸説がある。こうした問題を扱うには、まず資料をできるだけ多く収集し、それを重要度、信頼度という点から整理する事が必要となる。またこうした実証的作業に併行して系統の発生構図を構築するという理論的作業を同時に進めなければならぬ。実証的作業においても作並の場合には研究の対象となる年代が幕末から明治一〇年頃になるため

従来の図書中心の調査方法には限界があり、どうしても近世地方史研究の方法論が導入されなければならないだろう。ここでは、こうした展望にたった研究の第一歩として岩松直助に関する資料を整理し、岩松の木地師的性格を考える事にしよう。

まず従来の文献より、木地師岩松関係の既往資料を整理すると次のようになる。

- 一、作並には岩松徳右衛門・直助・直治という木地師がいた(海・三、郷愁・一一、手帖・一〇、三三、ガイド、追念)しかし、徳右衛門・直助・直治の関係については、父子、兄弟等諸説ありさだかではない。
- 二、山形の小林倉治は、徳右衛門あるいは直助に師事し、直助没後残された長女つるを養女として山形へ連れ帰った。つるは後年、作並の平賀太五郎の後妻となった(手帖・三三)。
- 三、直助は大沢村龍根の伊達公卿抱木地師小倉氏の五代目を後続した木地師(手帖・四八)あるいは大沢村龍根の木地師に弟子入り見習いした木地師である。しかし、龍根即ち龍ノ上の仙台藩御抱木地師は新国家のみであるから直助は新国家より木地の伝承を受けたと考えられる(手帖・六八)。
- 四、岩松直助は秋田から来た木地師で、湯元岩松旅館

- 109 -

こけし山河第17号 (昭和47年9月)
木の花「仙山紀行」 (昭和50年2月)

46年 9 月30日発売

編 鹿 中 執 鹿 中
筆 集 間 白 橋 箕
屋 間 屋 間
時 時 正 正 惣 新
夫 舜 明 明 舜 一

徹底的に調査された

詳細なこけし工人辞典

■本書は、総合的なこけし百科であるが、工人に関する基礎的知識の不足が痛感されている折から、その中心を工人に置いた。収録工人名は一千名におよび人物・作品・伝統の順に詳しく解説した。

■工人の家系調査が実証的にされぬ限り、

こけし辞典

鹿間時夫監修

伝統や系譜は正確にはわからない。そのため、執筆者は現地の役所にて戸籍調査を行なって、人物の経歴を詳細に解説した。さらに、工人に直接探訪して、身辺のエピソードなども盛り込んだ。挿図八〇〇を収め、作風を示した。

■工人のほか系統・地名・用語・コレクションなど、こけしに関するあらゆる事項を細大もろさず収録した。付録に系統図・地図・文献を収む。口絵カラー八頁。



東京堂出版

A5判 580頁 定価4500円 千170円

こけし辞典出版記念会



こけし研究のアプローチ（鹿間時夫と西田峯吉）

西田峯吉

- ・ 農林省（蚕系）
- ・ 研究者のモデル 農務省の先輩 柳田國男
- ・ 柳田國男は民俗学を「学」として認知してもらえるように、後年は非常に慎重な記述姿勢となった。西田峯吉も趣味道楽の世界から、「こけし」が研究対象として認知されるために慎重厳格な姿勢を維持した。仮説段階での発表はせず、検証確認を優先した。

鹿間時夫

- ・ 古生物学者（東北帝国大学） 後年 横浜国大教授、早稲田大学講師
- ・ 古生物の形態分類の権威 同じアプローチで「貝」の分類も行った。
- ・ 古生物、貝に関する著書多数
- ・ こけしの他、古民芸にも趣味は広かった
- ・ 自分の学問は既に認知されていたから、方法論に関しては揺るぎが無かった
- ・ 古生物や貝の世界観を組み立てたように「こけし」の世界観も構築できる自信があった。系統分類は専門であった。
- ・ 「こけし辞典」は、その集大成であり、こけしの世界全体の知識を包括するものを目指していた。

Kokeshi Wiki

現代に生きる「こけし辞典」への挑戦です。

[ホーム](#) [サイト内検索](#) [このサイトについて](#) [お知らせ](#) [ご協力について](#) [ご意見・お問い合わせ](#)



Kokeshi Wiki

鎌田文市



【人物】 明治33年8月28日、宮城県白石市新町の稲森源謙田和作の三男に生まれた。大正3年5月15歳で彫治郎で佐藤勘内の弟子となって木地を習得した。また大正6年頃には、勘内が宮城県の補助金により行われた木地講習会の講師...

[続きを読む](#)

カテゴリー: 工人、彫治郎系 (タグ: 佐藤勘内、佐田栄利、佐田隆、津田金九郎、津田金治郎、鎌田金太郎、鎌田金吉、鎌田文市) | 投稿日: 2015年8月22日 | 投稿者: hashimoto | 最終更新日: 2015年8月27日 | 最終更新者: hashimoto | 編集

宮本惣七



【人物】 安永4年4月3日、陸中国磐井郡山目村120番宮本惣内、里さの二男に生まれる。長兄は惣吉。祖父は宮本惣三郎、母里さは志田郡田尻村の斎藤新八長女。深沢義の宮本永吉からの開書によると、「木地は、初代が惣助、二代が惣七...

[続きを読む](#)

カテゴリー: 工人、彫子系 (タグ: 佐藤松三郎、守谷九郎、宮本惣七、宮本惣内、宮本惣助、宮本永吉) | 投稿日: 2015年8月22日 | 投稿者: hashimoto | 最終更新者: hashimoto | 編集

記事検索

サイト内検索 検索

[お知らせ](#) [更新履歴](#) [工人検索](#)

初期表示は「最終更新日降順」に設定しました。

2014年8月21日 更新

Kokeshi Wiki公開します

2014年4月17日 更新

[もっと見る](#)

カテゴリー

[+] 一般項目 (253)

[+] 工人 (1883)

» 区分組 (14)



Kokeshi wiki によって改善される点

- ・ 適時に情報を修正、更新できる (工人動静、こけしの変化、誤りの修正)
- ・ 利用者 (読者) からのコメントや情報を即座に反映できる (読者の参加)
- ・ スマホで見られるのでどこにでも携帯できる (こけし辞典は重たい)
- ・ カラーの写真を多く掲載できる
- ・ 工人の映像や動画の掲載、リンクも出来る 例: <http://kokeshiwiki.com/?p=1122>
- ・ Google Mapへのリンクも可能 例: <http://kokeshiwiki.com/?p=1437>
- ・ こけし関連全体へのポータル化の可能性 例: <http://kokeshiwiki.com/?p=957>

Back up

【西田峯吉プロフィール】

1900年（明治33年）生まれ 島根県安来市広瀬町布部（旧・布部村）出身
大正14年、大学卒業後農林省に入省。蚕糸業に関わり、
研修旅行で東北地方を廻った際にこけしに出会う。

昭和31年～平成3年まで東京こけし友の会会長を務め、
鳴子温泉の全国こけし祭りコンクール審査委員長も長く勤める。

1993年（平成5年）没。

平成7年4月、福島市内に「原郷のこけし群西田記念館」開館。



【西田峯吉の代表的なこけし関係著書】

昭和17年「古形志加々美」（菊楓會同人＝土橋慶三・溝口三郎・西田峯吉・金森遵）

昭和18年民族玩具叢書第5巻「こけし風土記」（新龍社）

昭和28年～昭和30年「こけしの郷愁」（東京こけし友の会）

昭和30年～「こけし手帖」（東京こけし友の会）

昭和31年「こけし」（共著：土橋慶三）

昭和36年「こけし風土記」

昭和36年「こけしの美」（監修 米浪庄弼、鹿間時夫、西田峯吉、土橋慶三）

昭和39年「鳴子・こけし・工人」

昭和43年「こけし事典」（菅野新一監修・土橋慶三・西田峯吉編著）

昭和47年「こけしのふるさと」（菅野新一監修・土橋慶三・西田峯吉編）

昭和50年「こけし伝統の美 心豊かな人形の世界」

昭和62年「図譜・原郷のこけし群 西田峯吉コレクション第1集・第2集」

【鹿間時夫プロフィール】

1912年6月6日（明治45年）生まれ 京都市出身

1931年（昭和6年）～1939年（昭和14年）東北大帝国学地質学教室で
葛生化石動物群について調査。ニホンムカシジカやクズウアナクマなどの新種11種発見。

1950年（昭和25年）東北大学理学博士。横浜国立大学教授。古生物学研究。

東京こけし友の会幹事 こけしの会同人

1978年12月12日（昭和53年）没。

【鹿間時夫の代表的なこけし関係著書】

昭和18年「こけし襦記」

昭和28年～昭和30年「こけしの郷愁」（東京こけし友の会）

昭和30年～「こけし手帖」（東京こけし友の会）

昭和29年「こけし・人・風土」

昭和41年「こけし 美と系譜」（中屋惣舜・鹿間時夫著）

昭和42年「こけし鑑賞」

昭和46年「こけし辞典」（中屋惣舜・鹿間時夫編）

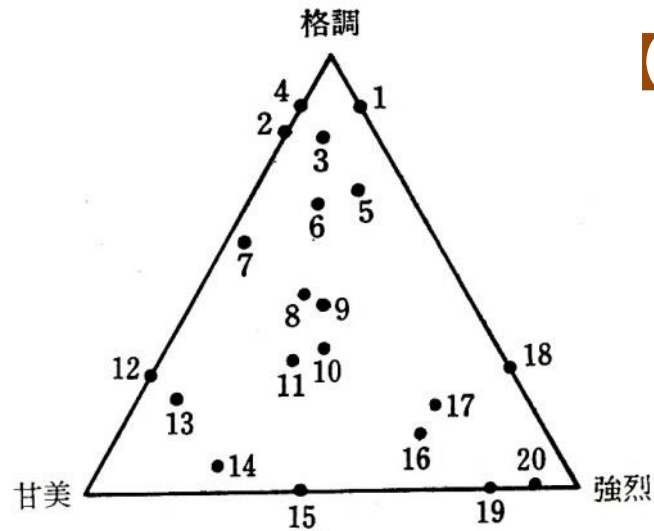
昭和49年～「木の花」（こけしの会）

昭和51年「こけしの旅」（こけしの会）

昭和55年「美の遍歴－民芸とこけしより南画へ－」



【鹿間時夫によるこけしの表情分析図】



- | | |
|---------|----------|
| 1 小椋久四郎 | 12 小林倉吉 |
| 2 佐藤直助 | 13 大沼岩蔵 |
| 3 佐藤松之進 | 14 高橋定助 |
| 4 岡崎栄作 | 15 斎藤太治郎 |
| 5 高橋武蔵 | 16 佐藤文六 |
| 6 渡辺キン | 17 奥山喜代治 |
| 7 大沼甚四郎 | 18 佐藤周助 |
| 8 佐藤勸内 | 19 長谷川辰雄 |
| 9 小林吉太郎 | 20 岩本善吉 |
| 10 菅原庄七 | 21 斎藤幸兵衛 |
| 11 高橋胞吉 | |

表情成分系

